

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成30年4月19日(2018.4.19)

【公開番号】特開2017-169582(P2017-169582A)

【公開日】平成29年9月28日(2017.9.28)

【年通号数】公開・登録公報2017-037

【出願番号】特願2017-103668(P2017-103668)

【国際特許分類】

C 12 N 1/21 (2006.01)

C 12 P 21/02 (2006.01)

C 12 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 12 N 1/21 Z N A

C 12 P 21/02 C

C 12 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月9日(2018.3.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

大腸菌K-12株MG1655の少なくとも以下の遺伝子：b0245-b0301、
 b0303-b0310、b1336-b1411、b4426-b4427、b244
 1-b2450、b2622-b2654、b2657-b2660、b4462、b1
 994-b2008、b4435、b3322-b3338、b2349-b2363、
 b1539-b1579、b4269-b4320、b2968-b2972、b297
 5-b2977、b2979-b2987、b4466-4468、b1137-b11
 72、b0537-b0565、b0016-b0022、b4412-b4413、b
 0577-b0582、b4415、b2389-b2390、b2392-b2395
 、b0358-b0368、b0370-b0380、b2856-b2863、b30
 42-b3048、b0656、b1325-b1333、b2030-b2062、b
 2190-b2192、b3215-b3219、b3504-b3505、b1070
 -b1083、b1878-b1894、b1917-b1950、b4324-b43
 42、b4345-b4358、b4486、b0497-b0502、b0700-b
 0706、b1456-b1462、b3481-b3484、b3592-b3596
 、b0981-b0988、b1021-b1029、b2080-b2096、b44
 38、b3440-b3445、b4451、b3556-b3558、b4455、b
 1786、b0150-b0153およびb2945、または他の大腸菌K12株もしく
 はB株の対応する遺伝子が欠失している、ゲノム縮小化大腸菌K12またはB株細菌であ
 って、挿入配列を全て欠き、機能するdinB遺伝子を欠く、ゲノム縮小化大腸菌K12
 またはB株細菌。

【請求項2】

機能するpolB遺伝子をさらに欠く、請求項1に記載の細菌。

【請求項3】

機能するumuDC遺伝子をさらに欠く、請求項1または2に記載の細菌。

【請求項 4】

前記細菌の天然親株が B 株である、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の細菌。

【請求項 5】

前記細菌の天然親株が株 B L 2 1 (D E 3) である、請求項 4 に記載の細菌。

【請求項 6】

前記細菌の天然親株が K 1 2 株である、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の細菌。

【請求項 7】

前記細菌の天然親株が K 1 2 株 M G 1 6 5 5 である、請求項 6 に記載の細菌。

【請求項 8】

前記細菌が、前記 d i n B 遺伝子を機能しないようにさせることにより、M D S 4 2 から作製される、請求項 7 に記載の細菌。

【請求項 9】

機能する u m u D C 遺伝子および / または機能する p o l B 遺伝子を有する、請求項 1 に記載の細菌。

【請求項 10】

機能する u m u D C 遺伝子および / または機能する p o l B 遺伝子を欠く、請求項 1 に記載の細菌。

【請求項 11】

異種核酸を含む、請求項 1 ~ 1 0 のいずれか一項に記載の細菌。

【請求項 12】

前記異種核酸が、発現制御配列に作動的に連結されたポリペプチドをコードする核酸を含む、請求項 1 1 に記載の細菌。

【請求項 13】

ポリペプチドを製造するための方法であって、前記ポリペプチドの発現に好適な条件下で請求項 1 2 に記載の細菌をインキュベートすることと、該ポリペプチドを回収することとを含む、方法。